

## 地域の経済動向(令和6年1-3月期) 《オホーツク地域》

### 1 経済動向に係る企業等の声(1~3月期)

#### 【建設業】

- ・ 売上は増加しているものの燃料や資材が高騰しており、ある程度は設計変更等で対応しているものの、全てを価格転嫁することは難しく、利益は減少傾向にある。(土木工事業)
- ・ 2024年4月以降は、下請け会社の取り合いにもなり、契約工期内に完了できるか不安。(建設業)
- ・ 技術者が高齢化する中、積極的に採用を進めたいが、有資格者が見つからず苦慮。(設備工事業)
- ・ 業界全体が慢性的な人材不足で、特に30~40代の技術者やオペレーター不足が顕著。工業高校の生徒数も年々減少しており、地元就職希望の学卒者を地元企業が奪い合っているという実態。若者の早期離職も多く技術の継承もままならず、魅力ある職場づくりが喫緊の課題である。(建設業協会)

#### 【製造業】

- ・ 3月頃からGW向けに製造量を増やす予定。価格転嫁については、昨年4月に平均16%値上げしたが、それでも原材料価格の高騰により経営は切迫している。(菓子製造業)
- ・ 物産展や道の駅、ホテルでの発注が増加しており、売上は回復傾向にある。(食料品製造業)

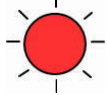






#### 【運輸業】

- ・ 荷主に対して標準的な運賃を浸透させてほしい。(道路貨物運送業)

#### 【サービス業】

- ・ 宿泊状況は昨年と同程度で、コロナ禍前と比較して客足や売上は戻りつつあるが、2月は流氷観光シーズンのため昨年よりも売上げが良かったものの、1月、3月は赤字となった。(宿泊業)



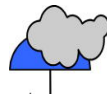
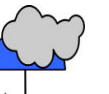

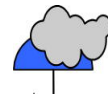










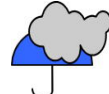















## 2 道内金融機関から見た地域景況感(1-3月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

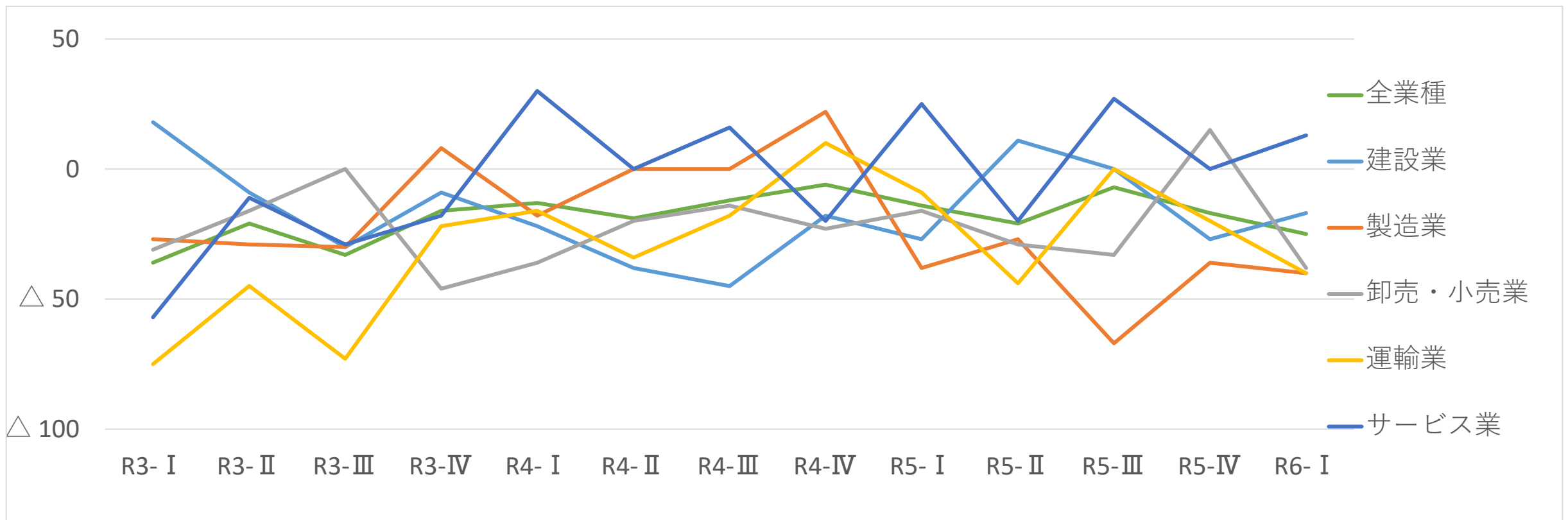
### 【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
網走信用金庫				当金庫業況調査において、製造業のDIが△27.3、建設業のDIが△19.2であり、生産動向を「非常に低調」とした。消費動向について、サービス業のDIがプラスにて推移しているが、卸売・小売業のDIが△17.6であり、前期より数値が悪化しているため、「やや低調」と判断した。全業種においては、DIが△16.0であり、前期より悪化していることから前期の「普通」から「低調」と判断した。		当金庫業況調査の次期予想において、全業種のDIでは△7.1と直近と比較してやや改善の見通しではあるが、依然マイナスの数値を示していることから、前期同様「下降傾向」と判断した。
遠軽信用金庫				遠軽地方における景気動向調査の結果、全業種の業況DIは△33.6と、前期調査(△11.8)から悪化する結果となった。慢性的な人手不足や仕入れ値の価格転嫁ができない等、前期に続き、厳しい状況が続いており、現在の景況感は前期調査時の「やや低調」から「低調」と判断した。生産動向・消費動向については、全ての業種において売上DI・収益DIが悪化する結果となり、前期調査時の「やや低調」から「低調」と判断した。		次期の景気見通しについては、全ての業種において売上DI・収益DIは改善される見通しであるものの、多くの企業で業況回復には時間を要することが予想されており、次期の景気見通しは「変わらない」と判断した。
北見信用金庫 (北見地区)				当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDIは、売上高が△20と6ポイントの悪化、収益も△24と6ポイントの悪化となっていることから、「低調」と判断した。		前期と比較した次期の見通しでは、売上DIは+7、収益DIは+2と改善の見通しとなっている。
北見信用金庫 (紋別地区)				基幹産業である水産関連企業が閑散期である為、水産加工業を中心に生産動向は「やや低調」に推移している。流水接岸による観光客については国内外からの観光客も徐々に戻ってきており、コロナ禍前には戻らないまでも消費動向は「普通」とし、経済活動の復調の兆しが見えていることから総合的に「普通」と判断した。		春先よりホタテ漁が開始となり、水産関連企業が稼働することから生産動向は上向きとなる。更に新型コロナウイルス感染症の5類移行により、経済活動も活発化してきていることから、「上昇傾向」と判断した。

### 【景況感の推移】

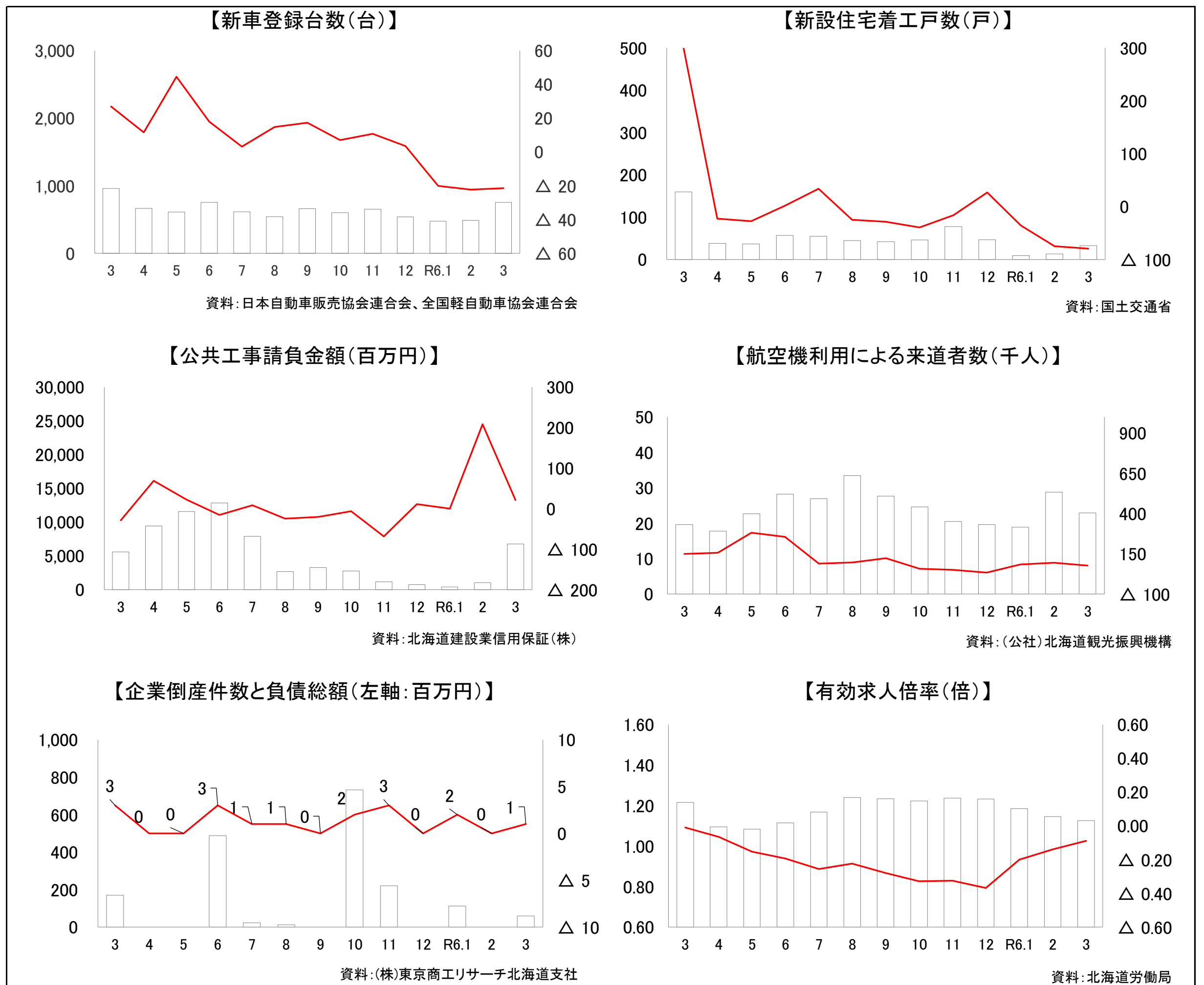
	R4- II	R4- III	R4- IV	R5- I	R5- II	R5- III	R5- IV	R6- I
網走信用金庫								
遠軽信用金庫								
北見信用金庫 (北見地区)								
北見信用金庫 (紋別地区)								

### 3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II	R5-III	R5-IV	R6-I
全業種	△ 36	△ 21	△ 33	△ 16	△ 13	△ 19	△ 12	△ 6	△ 14	△ 21	△ 7	△ 17	△ 25
建設業	18	△ 9	△ 30	△ 9	△ 22	△ 38	△ 45	△ 18	△ 27	11	0	△ 27	△ 17
製造業	△ 27	△ 29	△ 30	8	△ 18	0	0	22	△ 38	△ 27	△ 67	△ 36	△ 40
卸売・小売業	△ 31	△ 16	0	△ 46	△ 36	△ 20	△ 14	△ 23	△ 16	△ 29	△ 33	15	△ 38
運輸業	△ 75	△ 45	△ 73	△ 22	△ 16	△ 34	△ 18	10	△ 9	△ 44	0	△ 20	△ 40
サービス業	△ 57	△ 11	△ 29	△ 18	30	0	16	△ 20	25	△ 20	27	0	13

### 4 各種経済指標



(右軸: 来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差):%)